

『匠』 ～あなたの腕に磨きをかけましょう！～ 【黙示録 3:14～22】

「人並み」か「人並みではない」どちらを選ぶかと前に出されると「人並みではない」方を選ぶ人は多いと思いますが、普段、無意識に思っているのは「人並み」「平凡」で良いという考えではないでしょうか？日本人は特に人がしている事には結構こだわりを求めますが、自分自身の事になると「みんなと同じでいい」とか「なんでもいい」というようにこだわりを持っていない人が多いように思います。私達は豊かである。と思いついでしまっているのではないでしょうか？（黙示録 3:17）「人並み」か「人並みではない」どちらを選び、どのような生き方をしていくかは、あなたの選択にかかっています。私達は神様が創造した、磨けば光る原石です。原石であるあなたが光り輝く為に① **アイデンティティを明確に！（独自性）**人並みではダメです。自分をしっかり持ちましょう。神様はアイデンティティをととても重んじます。私達が日々行っている判断は独自性につながります。独自性とは私達の持っている能力そのものです。神様から与えられた賜物があります。人まねではない「自分」を見つけましょう。② **腕を磨ける所へ率先して出向く。**今の状況に満足しないで下さい。独自性を出す為に腕を磨く努力をしていますか？「まあいいか。」で済ませてはないでしょうか。③ **表裏一体。陰陽の脱却。**あなたの持つ表と裏の自分。これがあると匠は発揮されません。98%素晴らしいとしても残りの2%が悪かったら良い所がかき消されてしまいます。これは完璧を求めなさいと言っているのではありません。あなたの「なまぬるい」部分を取る。という意味です。（黙示録 3:15）信仰についても同じ事が言えます。「火で精錬された火」＝「混じりけのない信仰」・「目が見えるようになる為の目薬」＝「判断力」（黙示録 3:18）それらをしっかりと持って欲しいと神様は願っておられます。何に対してもなまぬるくなっていませんか？『見よ。わたしは、戸の外に立ってたく。…』（黙示録 3:20）人に目を向ける前に自分の心の扉を開け神様からの光りを照らしてみして下さい。あなたがどう生きて行くべきか見えてくるはずですよ。